

## 平成28年度 日本コーチング学会（体育方法専門領域）総会議事録

日 時：平成28年8月25日（木） 11:00～11:30

場 所：大阪体育大学 C305

### 1. 日本体育学会第66回大会 優秀賞 表彰式

朝岡正雄会長より、受賞者に対して賞状が授与された。

### 2. 議長団選出

議長として、青山清英理事長が選出された。

### 3. 会長挨拶

朝岡正雄会長より挨拶がなされた。「コーチング学研究」の投稿数増加がある一方、投稿規定が守られていない論文に困惑している旨の説明があった。

### 4. 議事録署名人の選出

議事録署名人として、會田宏氏と森丘保典氏が選出された。

### 5. 前回総会議事録確認（資料2）

前回総会議事録（資料2）が承認された。

### 6. 報告事項

#### 1) コーチング学研究の編集進捗状況について（資料1）

資料1に基づき、青木和浩編集委員長より以下の報告がなされた。投稿本数の増加に伴い編集委員会委員が増員された。平成27年度コーチング学研究は投稿数40件のうち掲載可14件、掲載不可22件、審査中4件である。平成28年度は8/18現在で投稿数24件であり、例年の2倍のペースである。投稿される論文には不備等が多く、審査に時間を要するため、投稿規定を確認して欲しい。コーチング学研究第30巻第1号は、平成28年10月末に発刊予定である。

#### 2) コーチング学研究増刊号（第2号）の準備状況について

森丘保典理事より、増刊号（第2号）発刊の準備状況についての説明がなされた。「私の考えるコーチング論」の増刊号第2号を今年度末に発刊する計画である。後段には故岡子浩二理事の業績や論文を掲載する予定である。

#### 3) 日本コーチング学会第28回大会準備進捗について

長谷川聖修理事より、日本コーチング学会第28回大会は以下の日程で開催される旨、報告があった。  
場所：早稲田大学東伏見キャンパス 日程：2017年3月21日（火）・22日（水）

#### 4) その他

##### ①第2回アジア太平洋コーチング科学学会について

伊藤雅充理事より、2016年11月11日～23日に上海体育学院で開催される標記学会について情報提供がなされた。

##### ②「コーチング学叢書」の発刊について

青山清英理事長より、「コーチング学叢書」を今年度末に発刊する予定が報告された。

### 7. 審議事項

#### 1) 次期役員選出選挙管理委員の選出について（資料2）

資料3に基づき、次期役員選出選挙管理委員の選出に関する審議が行われた。これまでの慣例に従い、委員長には長谷川聖修理事（庶務委員会委員長）、副委員長には野口智博理事（庶務委員会副委員長）が推薦され、承認された。選挙は今年度中に実施される。

#### 2) その他

なし

## 平成28年度 日本コーチング学会総会 議事録

日 時：平成29年3月22日(水) 9:00~9:30

場 所：早稲田大学東伏見キャンパス 79号館2階204教室

### 1) 議長の選出

議長として青山清英理事長が推薦され、了承された。

### 2) 会長挨拶

朝岡正雄会長より、「コーチング学への招待」が発刊されたこと、コーチング学研究の規定を遵守した投稿をお願いしたいこと、今後のコーチング学の発展のために次期役員への協力をお願いしたい旨の挨拶がなされた。

### 3) 議事録署名人の選出

議事録署名人として、野村照夫理事、長谷川聖修理事が選出された。

## ○報告事項

### 1) 平成29・30年度役員・理事について(資料1)

青山清英理事長より、平成29・30年度日本コーチング学会役員・理事一覧(資料1)が示され、平成29年1月28日に新理事会を開催した旨、報告があった。

(以後、議長は青木和浩新理事長に交代。また、中川昭新会長より、学体系の確立が急務であること、「コーチング学への招待」出版を機に情報発信をしていきたい旨、挨拶があった。)

### 2) コーチング学研究の編集進捗状況について(資料2)

資料2に基づき、重城哲編集委員より、平成27年度及び平成28年度コーチング学研究・審査進捗状況について、またコーチング学研究の発刊について報告がなされた。4月中にコーチング学研究、コーチング学研究別冊、コーチング学への招待の3冊を一緒に郵送する予定が示された。

### 3) 日本コーチング学会第29回大会開催予定について

遠藤俊郎理事より、日本コーチング学会第29回大会は山梨学院大学で開催されること、開催時期は例年通りだが日程は未定との報告があった。

## ○審議事項

### 1) 前回総会議事録確認(資料3)

前回総会議事録(資料3)が確認され、承認された。

### 2) 会則および役員選出規定の改訂について(資料4,5)

資料4,5に基づき、青木和浩新理事長より、新しく設置する副理事長や常置委員会などを盛り込んだ改訂案について説明がなされ、承認された。

### 3) 平成28年度事業報告および決算について(資料6,7)

資料6,7に基づき、長谷川聖修庶務委員長より、平成28年度事業報告(案)が提示され、承認された。また、平成28年度決算については、渡部和彦監事からの監査結果が報告され、承認された。

### 4) 平成29年度予算および活動計画について(資料6,8)

資料6,8に基づき、長谷川聖修庶務委員長より、平成29年度事業計画(案)および平成29年度予算(案)が示された。「コーチング学への招待」の現会員への送付について、「買上分の印税は、著者辞退として対応し、価格設定に反映される」旨の説明がなされた。審議の結果、事業計画(案)および予算(案)は、いずれも承認された。

5) 平成29・30年度各種委員会担当について(資料9)

資料9に基づき、青木和浩新理事長より、委員会担当(案)が説明され、承認された。

6) 研究助成規程について(資料10-1, 10-2, 10-3)

資料10-1, 10-2, 10-3に基づき、森丘保典企画委員長より、規定の変更点として助成の種類を二つに整理したこと、助成額と使用期間を明記したこと、研究報告および会計報告の書式を整理したことなどが説明され、承認された。本規定は平成29年4月1日から施行される。

7) その他

青山清英コーチング叢書特別委員長より、「コーチング学への招待」の執筆者には、出版社より献本がなされるとの報告があった。

## 平成28年度 日本コーチング学会 第2回理事会議事録

日 時：平成28年8月24日(水) 12:30~13:15

場 所：大阪体育大学 C305

出席者：朝岡正雄(会長), 中川 昭(副会長), 青山清英(理事長), 會田 宏, 青木和浩, 伊藤雅充, 佐藤 徹, 長谷川聖修, 梅林 薫, 遠藤俊郎, 重城哲, 野村照夫, 森丘保典, 山口 香, 吉田清司(15名), 大塚 隆(幹事), 鈴木淳也(幹事), 本道慎吾(幹事), 金堀哲也(幹事)  
委任状提出者 9名

### 1. 開会宣言(朝岡正雄会長)

朝岡正雄会長より開会の挨拶が行われ, 体育方法企画の「キーノートレクチャ&ワークショップ」に関する感想, 及び「コーチング学研究」投稿状況が述べられた。

### 2. 議事録署名人

議事録署名人として, 伊藤雅充氏と野村照夫氏が選出された。

### 3. 報告事項

#### 1) コーチング学研究の編集進捗状況について

資料1に基づき, 青木和浩編集委員長より以下の報告がなされた。投稿本数の増加に伴い編集委員会委員が増員された。平成27年度コーチング学研究は投稿数40件のうち掲載可14件, 掲載不可22件, 審査中4件である。平成28年度は8/18現在で投稿数24件であり, 例年の2倍のペースである。投稿される論文には不備等が多く, 審査に時間を要するため, 投稿規定を確認して欲しい。コーチング学研究第30巻第1号は, 平成28年10月末に発刊予定である。

#### 2) コーチング学研究増刊号(第2号)の準備状況について

森丘保典理事より, 増刊号(第2号)発刊の準備状況についての説明がなされた。故凶子浩二理事の業績や論文を掲載し, 今年度末に発刊予定である旨の報告があった。

#### 3) 日本コーチング学会監修「コーチング学叢書」について

青山清英理事長より, 来年3月に「コーチング学叢書」を出版予定である旨, 説明がなされた。

#### 4) 日本コーチング学会第28回大会準備進捗について

長谷川聖修理事より, 日本コーチング学会第28回大会は以下の日程で開催される旨, 報告があった。  
場所：早稲田大学東伏見キャンパス 日程：2017年3月21日(火)・22日(水)

#### 5) その他

伊藤雅充理事より, 2016年11月11日~23日に上海体育学院で開催される第2回アジア太平洋コーチング科学学会についての情報提供がなされた。

### 4. 審議事項

#### 1) 前回理事会・総会議事録確認

前回理事会議事録(資料2), 及び総会(資料3)の議事録(案)について確認がなされ, 承認された。

#### 2) 表彰規程の改正について

資料4・5に基づき, 青山清英理事長より「学会賞及び奨励賞内規」及び「優秀発表賞表彰規程」の改正案が出され, 審議が行われた。今後検討の上, 来年3月の学会大会において成案したい旨が示された。

#### 3) 研究助成規程案について

資料6に基づき, 「研究助成規程」(案)について審議が行われた。研究成果報告の義務づけなどが確認され, 規程の文言の修正等については森丘保典理事がとりまとめ役となることが確認された。なお, 2016年度は従来規程で運用し, 改正される規程は2017年度からの施行となる。

4) 次期役員選出選挙管理委員の選出について

資料7に基づき、次期役員選出選挙管理委員の選出に関する審議が行われた。これまでの慣例に従い、委員長には長谷川聖修理事（庶務委員会委員長）、副委員長には野口智博理事（庶務委員会副委員長）が推薦され、承認された。選挙は今年度中に実施される。

5) 総会議事について

資料8の審議事項の項目を若干変更して総会議事とすることが承認された。

5. 閉会宣言

青山清英理事長より、会議の閉会が宣言された。

## 平成28年度 日本コーチング学会 第3回理事会議事録

日 時：平成28年12月10日(土) 13:00~14:30

場 所：日本大学文理学部体育学科 会議室

出席者：朝岡正雄(会長), 中川 昭(副会長), 青山清英(理事長), 阿江通良, 會田 宏, 伊藤雅充,  
 射手矢岬, 大嶽真人, 重城 哲, 野村照夫, 長谷川聖修, 本間三和子, 森丘保典, 安井年文(14名)

幹事：本道慎吾

委任状提出者 8名

### 1) 会長推薦の理事追加

会長推薦で来春大会が開催される早稲田大学の射手矢 岬氏を今期の理事として追加することが承認された。

### 2) 開会宣言(朝岡正雄会長)

関係者の協力によるコーチング学叢書の出版準備は順調に進んでいる。今後も若い世代を育む学会として発展してほしい。

### 3) 議事録署名人として, 阿江通良氏と安井年文氏が選出された。

## ○報告事項

### 1) コーチング学研究の編集進捗状況について

資料1に基づき, 重城編集委員より以下の報告がなされた。

平成27年4月1日~平成28年3月31日の投稿数:40件(審査終了:39件)掲載可:16件, 掲載不可:23件(うち2件は取下げ), 審査中:1件である。平成28年度は, 平成28年4月1日~現在(12/5)の投稿数:35件(総説1件, 原著論文28件, 研究資料3件, 実践報告3件)掲載可:3, 掲載不可:11件, 審査中:21件である。コーチング学研究の発刊については, 第30巻第1号 特別寄稿1件, 掲載論文4件(原著論文:3件 研究資料:1件)である。

### 2) 日本コーチング学会第28回大会準備進捗について

射手矢理事により, 平成29年3月21日(火), 22日(水)の2日間にわたり, 早稲田大学東伏見キャンパスにおいて日本コーチング学会第28回学会大会, 兼 第10回日本体育学会体育方法専門領域研究会を開催するとの説明がなされた。本大会は, コーチングに関する科学の発展を促すとともに, スポーツ場面におけるコーチングの力量の向上に寄与する実践的知見を発表することを目的として開催する。この大会では, 特に, オリンピック・パラリンピックの目指すべき方向性などについて情報や意見の交換を行いたい。発表の申込み〆切は2017年1月11日(水)で, 現在大会専用サイトを早急に準備している。

### 3) 平成29・30年度役員選出選挙の結果について

資料2に基づき, 長谷川選挙管理委員会委員長より, 平成29-30年度日本コーチング学会における理事候補者選挙結果が報告された。返送総数は213通(返送率13.5%)有効返送数212通で, 有効投票数988, 白票数70, 無効投票7であった。上位20名を当選者とし, 次点者若干名について順位をつけ, 同点得票者がいた場合は抽選とした。1月中に新理事候補の会を開催する予定である。

### 4) 日本コーチング学会第27回大会会計報告

資料に基づき, 大嶽理事より, 日本コーチング学会第27回大会会計の決算報告書について説明がされた。丸山克俊監事, 渡部和彦監事に監査を受けて, 問題なく処理されていたことが報告された。

### 5) コーチング学叢書について

青山理事長より, コーチング学叢書は順調に編集作業が進められており, 来年3月には発刊する予定であることが報告された。

### 6) ドイツスポーツ科学会議について

長谷川庶務委員長により, 日本体育学会とドイツスポーツ科学学会(German Society of Sport Science, DVS)

との学術協定に基づき、2017年9月（13日～15日）にドイツのミュンヘンで行われるドイツスポーツ科学会議（University Day in Munich）への招待候補者の推薦依頼が日本体育学会からあった。希望者があれば、本学会が（航空券購入費用）を負担しない派遣候補者を1名（専門領域から派遣）推薦する旨が報告された。

#### ○審議事項

##### 1) 前回理事会議事録確認

資料3により承認された。

##### 2) 投稿規定の改定・投稿の手引きの改定

資料4に基づき、重城編集委員より、改定についての説明がなされた。博士課程の学生による投稿が増え、その際に投稿の手引き通りになっていない状況が多くなっている。投稿規定や手引きの書き方について議論され、頻繁に起こっているミスを事前に防ぐために、チェック表の作成をする、執筆例をより具体的に示すなど、いくつかの改善点が提案された。次回理事会で再度検討する旨で了承された。

##### 3) 体育学会諸委員会委員候補者の推薦

資料5に基づき、長谷川庶務委員長により、体育学研究で7名、国際誌で6名、学会賞の選考委員1名を推薦する旨の説明がありされ、承認された。

##### 4) 平成28年度研究助成・研究助成規定

資料6に基づき、森丘副企画委員長より、平成28年度研究助成について、14件の応募があり、7件を採択する旨、報告され、了承された。また、次年度の研究助成規定について説明がなされ、申請書の書式について、選考しやすいように概要項目を増やすことや問題が生じた場合の返済義務などについても記すなどが提案された。次回理事会で再度検討する旨で了解された。

##### 5) 日本体育学会名誉会員の推薦

資料7に基づき、長谷川庶務委員長により、説明がなされ、日本体育学会の役職経験のない会員については事務局で調査の上、十分な活動内容がある会員がいる場合には推薦することが了承された。



## 平成29・30年度 日本コーチング学会 新理事候補者の会議事録

日 時：平成29年1月28日(土) 13:00~14:30

場 所：日本大学文理学部 体育学科会議室

出席者(予定)：會田 宏，阿江通良，青木和浩，内山治樹，梅林 薫，遠藤俊郎，中川 昭，長谷川聖修，  
本間三和子，森丘保典(10名)  
委任状提出者 9名

1. 会に先立ち，司会として長谷川聖修選挙管理委員長が選出された。
2. 議事録署名人として，會田宏氏と梅林 薫氏が選出された。
3. 報告事項
  - 1) 平成29・30年度日本コーチング学会役員選出選挙結果について長谷川選挙管理委員長より報告がなされた。
4. 審議事項
  - 1) 役職者の選出方法について，長谷川選挙管理委員長より説明され，内容が確認された。
  - 2) 理事長の選出について  
互選により理事長として青木和浩氏が選出された。  
これ以後，青木理事長により議事が進行された。
  - 3) 会長の選出について  
互選により会長として中川昭氏が選出された。中川新会長から，コーチング領域の学領域としての確立を目指して尽力したい旨，挨拶がなされた。
  - 4) 次年度の活動・予算について
    - ① 事務局長谷川氏より日本体育学会第68回大会の体育方法専門領域企画について説明がなされ，概要の提出  
✓切であるので，今後，次年度の企画委員会で検討する旨が了承された。
    - ② 日本コーチング学会第29回大会の開催会場について，山梨学院大学で開催する旨が了承された。また，今  
後，コーチング学会大会の開催地を決めるためのルール作りをする必要性について論議され，次年度の検討  
事項となった。
    - ③ 本年度の予算案を参考として，次年度の予算作成について，次のような意見が出された。
      - ログ作成を含むホームページの充実
      - 研究誌のオンラインジャーナル化(当面はCiNiiで検索が可能とする)
      - コーチング叢書(仮)の会員への配布(朝岡前会長・青山前理事長との確認が必要)
      - 会員管理の電子化等による事務局業務の負担軽減
  - 5) 会長推薦理事および追加理事について  
長谷川選挙管理委員長より，日本コーチング学会役員選出規程第11条に基づき，選挙結果の次点の3名  
の方に諾否確認を行うことと，5名の会長推薦理事と併せて，3月学会大会時の理事会にて審議したいと提案が  
なされ，承認された。なお，各委員会委員の人選については中川新会長・青木新理事長により，これまでの業  
務の引き継ぎがスムーズになるように調整する旨，承認された。
  - 6) 次回理事会について  
次回理事会は，現理事・新理事の合同の理事会という形で3月21日(火)10:30-11:30早稲田大学79号館2階  
204教室で開催する旨，承認された。



**平成28年度日本コーチング学会 第4回理事会・新理事会 議事録**

日 時：平成29年3月21日(火) 10:25～11:25

場 所：早稲田大学東伏見キャンパス 2279号館2階204教室

出席者：朝岡正雄(会長)、中川 昭(副会長)、葛西順一(副会長)、青山清英(理事長)、青木和浩、浅井 武、  
射手矢 岬、植田恭史、梅林 薫、遠藤俊郎、遠藤俊典、大嶽真人、尾縣 貢、重城 哲、野口智博、  
野村照夫、長谷川聖修、本間三和子、森丘保典、山崎一彦、吉田清司、菊山靖(陪席)(22名)

幹事：大塚 隆、鈴木淳也、本道慎吾

委任状提出者 10名

**1) 学会大会組織委員長挨拶**

葛西順一学会大会組織委員長より、日本コーチング学会第28回大会開催についての挨拶がなされた。

**2) 会長挨拶**

朝岡正雄会長より、「コーチング学への招待」が発刊されたこと、今後のコーチング学の発展を期待する旨の挨拶がなされた。

**3) 議事録署名人の選出**

議事録署名人として、尾縣貢理事、遠藤俊典理事が選出された。

**○報告事項****1) コーチング学研究の編集進捗状況について(資料1)**

資料1に基づき、青木和浩編集委員長より、平成27年度及び平成28年度コーチング学研究・審査進捗状況について、またコーチング学研究の発刊について報告がなされた。4月中にコーチング学研究、コーチング学研究別冊、コーチング学への招待の3冊を一緒に郵送する予定が示された。

**2) 日本コーチング学会第29回大会開催予定について**

遠藤俊郎理事より、日本コーチング学会第29回大会は山梨学院大学で開催されること、開催時期は例年通りだが日程は未定との報告があった。学会大会担当者として菊山靖氏が紹介された。

**○審議事項****1) 前回理事会議事録確認(資料2, 3)**

第3回理事会議事録(案)(資料2)、新理事候補者の会議事録(案)(資料3)が示された。資料3において修正箇所が指摘され、修正した上で承認された。

**2) 会則および役員選出規定の改訂について(資料4, 5)**

新しく設置する副理事長や常置委員会などを盛り込んだ改訂案が示され、審議の上、承認された。

**3) 平成28年度事業報告および決算について(資料6, 7)**

資料6, 7に基づき、長谷川聖修庶務委員長より、平成28年度活動報告(案)が提示され、一部誤字を修正の上、承認された。また、平成28年度決算については、渡部和彦監事からの監査結果が報告され、承認された。

**4) 平成29年度予算および事業計画について(資料6, 8)**

資料6, 8に基づき、長谷川聖修庶務委員長より、平成29年度事業計画(案)および平成29年度予算(案)について説明がなされた。「コーチング学への招待」の会員への送付について、「買上分の印税は、著者辞退として対応し、価格設定に反映される」旨を予算書に明記することが確認され、承認された。また、送付するのは2016年度会員であることが確認された。

**5) 平成29・30年度各種委員会担当について(資料9)**

資料9に基づき、青木和浩新理事長より、委員会担当(案)が説明され、承認された。

## 6) 研究助成規程について(資料10-1, 10-2, 10-3)

資料10-1, 10-2, 10-3に基づき, 森丘保典企画委員長より, 規定の変更点として助成の種類を二つに整理したこと, 助成額と使用期間を明記したこと, 研究報告および会計報告の書式を整理したことなどが説明され, 承認された。なお, 本規定は平成29年4月1日から施行される。

## 7) 日本体育学会第68回大会における体育方法専門領域の企画について(資料11-1, 11-2)

資料11-1, 11-2に基づき, 森丘保典企画委員長より, 体育方法専門領域企画について説明がなされた。専門領域を企画できるのが二日しかないこと, 日本学生陸上競技対校選手権大会(インカレ)と日程が重複しているため陸上競技関係者の学会参加ができないことなどを考慮し, シンポジウムではなく, キーノートレクチャーを企画することが説明された。コーチング学についてのキーノートレクチャーを演者として内山治樹理事に依頼し, すでに内諾を得ているとの報告があり, 承認された。

## 8) 総会議事次第について(資料12)

資料12に基づき, 長谷川聖修庶務委員長より, 総会議事次第について説明がなされ, 報告事項の中に「平成29・30年度役員・理事について」を追加することが確認され, 承認された。

## 9) 優秀発表賞の選考について(別紙資料1)

別紙資料1に基づき, 長谷川聖修庶務委員長より, 会長・副会長・理事は優秀発表賞選考用紙にて, 推薦者を提出して欲しい旨の説明があり, 承認された。

## 10) その他

- ① 野口智博理事より, 「監事の役割は, 会計だけではなく学会活動全体も担っている」との意見を監事から受けたという報告があった。審議の結果, 監事についてもメールリストに加え, 年度末の区切りとなる理事会への出席を依頼することになった。
- ② 尾縣貢理事より, 昨今のスポーツ政策についての問題点が挙げられ, 日本コーチング学会として各関係機関に対して意見を出すべき旨の発言があった。

日本コーチング学会  
平成29年度予算

収入

項目	平成28年度予算額	平成29年度予算額		備考
繰越金	10,636,149	10,844,416	△ 208,267	
体育学会補助	230,000	230,000	0	
会費	8,155,000	7,810,000	345,000	体育方法専門領域会員：1,248名 日本コーチング学会会員：383名
学生会費	100,000	100,000	0	日本コーチング学会学生会員：50名
賛助会費	300,000	300,000	0	30,000円×10社
利子	0		0	
収入計	19,421,149	19,284,416	136,733	
(繰越金を除いた収入)	8,785,000	8,440,000	345,000	

支出

項目	平成28年度予算額	平成29年度予算額	増減	備考
事務経費	100,000	150,000	△ 50,000	
学会誌発行	2,880,000	2,880,000	0	学会誌第30巻2号, 第31巻1号印刷・発送費 (単価704円×1700冊+送料) 編集事務経費
特別号	1,800,000	900,000	900,000	特別号 90万×1冊(企画委員会) 前年度分の支払い
[コーチング学への招待] 正会員への送付		4,476,100	△ 4,476,100	2,700円×0.8×1.08(税)=2,333円 送料300円 ×1,700名 買上分の印税は、著者辞退として 対応し、定価設定に反映
通信費	50,000	50,000	0	事務郵送代など
シンポジウム等開催	300,000	300,000	0	第68回静岡大学
大会費	2,200,000	2,200,000	0	学会大会運営費および専門領域研究会運営費
研究補助金	800,000	1,200,000	△ 400,000	一般助成数2～3件, 学生助成4～6件程度を 目安として
学術団体登録費	30,000	30,000	0	日本スポーツ体育健康科学学術連合登録費
表彰	100,000	100,000	0	優秀発表賞
旅費	800,000	800,000	0	会計監査経費, 理事会旅費(2回分)
会議費	300,000	300,000	0	理事会, 各種委員会など
事務局運営費	600,000	800,000	△ 200,000	事務局運営に関わるアルバイト代
HP管理運営費	600,000	800,000	△ 200,000	レンタルサーバ, ドメイン等 データ更新 ログマーク作成
選挙実施経費	500,000		500,000	今年度は選挙は実施せず
事務局機器	150,000	150,000	0	事務局PC(10万) 他
雑費	200,000	200,000	0	会費振替手数料等
予備費	100,000	100,000	0	
支出計	11,510,000	15,436,100	△ 3,926,100	
年度収入ー支出	△ 2,725,000	△ 6,996,100	4,271,100	
繰越金	7,911,149	3,848,316	4,062,833	

## 平成29年度 日本コーチング学会 第1回理事会議事録

日 時：平成29年5月20日(土) 16:00~17:20

場 所：日本大学文理学部体育学科 会議室

出席者：中川 昭(会長), 葛西順一(副会長), 青木和浩(理事長), 會田宏, 青山清英, 射手矢 岬, 伊藤雅充, 内山治樹, 梅林 薫, 遠藤俊典, 尾懸 貢, 曾根純也, 野村照夫, 長谷川聖修, 本間三和子(15名)  
(幹事) 伊佐野龍司, 鈴木淳也(2名)  
委任状提出者 9名

### 1. 開会宣言

中川昭会長より, 年度初めとして, 「従来の活動にこだわることなく, 新しい取り組みを積極的に進めていく」「様々な実践系の学会が設立されており, 本学会がその中心軸となるように努めていく」「ホームページに掲載された挨拶文(資料1)を参照してほしい」旨の挨拶がなされた.

### 2. 議事録署名人の選出

議事録署名人として, 曾根純也理事, 遠藤俊典理事が選出された.

### 3. 報告事項

#### 1) コーチング学研究の編集進捗状況等について

青山清英編集委員長より, 資料に基づき, 平成28・29年度コーチング学研究・審査進捗状況について報告がなされた. また, 論文投稿のチェックシートを作成し, 論文の投稿作業がスムーズに行われるようにし, 論文審査にあたっての注意事項をまとめて, 当面課題となっている「研究倫理の審査について」「共同研究者の役割分担」などについて見解などを統一させた旨, 説明された.

中川会長より, 今後j-stageなど, オンラインジャーナルとしても整備することが要望された.

#### 2) 「コーチング学への招待」の配布について

長谷川聖修庶務委員長より, 3月に発刊された「コーチング学への招待」を正会員に配布した旨, 報告された.

#### 3) 日本体育学会第68回大会(静岡大学) 体育方法専門領域の準備進捗状況について

梅林薫学会大会委員長より, 資料2に基づき, 日本体育学会第68回大会における体育方法専門領域の準備進捗状況が報告され, 今後は, 学会本部より演者情報が連絡されるので, 口頭発表の座長選出作業を進める予定が説明された.

#### 4) 日本体育学会第68回大会体育方法専門領域の企画について

遠藤俊典企画副委員長より, 9月9日に内山治樹理事を演者としてキーノートレクチャー「コーチングの本質を問う: コーチの根源的役割に着目した原理論的アプローチ」を行う旨, 報告された.

#### 5) 日本コーチング学会第28回大会(早稲田大学) について

葛西順一副会長より, 日本コーチング学会第28回大会は, 延べ約650名が参加して成功裡に終了した旨の報告がなされ, 学会関係者の協力に対するお礼が述べられた.

#### 6) 平成29年度研究助成公募について

遠藤俊典企画副委員長より, 平成29年度研究助成公募についての学会サイトに掲載された旨, 報告がなされ, 公募期間が4月~7月末までに変更されたので, 関係の会員に周知をしてほしい旨, 要望された.

### 4. 審議事項

#### 1) 前回理事会・総会議事録確認

資料4, 5の原案の通り, 了承された.

#### 2) 関連諸学会担当の件について

日本体育学会の学会賞選考委員会(平成29年6月10日(土) TKP御茶ノ水カンファレンスセンター)は, 長

谷川聖修理事が担当する旨が提案され、了承された。

日本スポーツ体育健康科学学術連合総会（平成29年6月10日（土）明治大学駿河台キャンパス）への出席者として野口智博理事が推薦され、了承された。

3) コーチング学叢書について

青山清英出版委員会委員長より、午前中に出版委員会が開催され、2020年を目処として、3部冊（測定・評定・球技）を発行する方向である旨、説明され、了承された。また、會田宏理事から、球技の内容について、本年内に、コンテンツの原案（球技論、球技のコーチング論、専門用語集）を提案する計画である旨、説明された。

4) 日本コーチング学会第29回大会（山梨学院大学）について

長谷川聖修庶務委員長より、開催日程は、平成30年3月21日（水）－22日（木）、発表形式（インパクトプレゼンテーションを中止し、ポスター発表と口頭発表への変更）などは、実行委員会に一任する旨、了承された。なお、中川会長より、日本体育学会体育方法専門領域の発表方法を参考にして、一般発表の順番やポスターの配置については、種目別ではなく、できるだけ研究のカテゴリーを配慮してほしい旨、要望された。

5) 学会賞及び奨励賞規定について

青木和浩理事長より、資料6に基づき学会賞及び奨励賞規定の改訂案について、説明がなされ、内規の4.「選考委員会は、前年度に刊行された『コーチング学研究』のなかから学会賞及び奨励賞の候補論文を決定する。」ということが承認された。この他、副賞の内容、佳作の設定などについて意見が出され、学会賞選考委員会で検討する旨で、了承された。次回理事会で、再度審議し、コーチング学研究30巻1号と2号を対象として3月の学会大会での表彰を目指す計画である旨が説明された。

6) 日本学術協力財団 賛助会員の加入について

長谷川聖修庶務委員長より、資料7に基づき、日本学術協力財団へ賛助会員の加入について説明され、他学会の動向も配慮しつつ、当面は加入しない方向で対応する旨、了承された。

7) 次回理事会について

日本体育学会第68回大会（静岡大学）において9月8日（金）11時45分（会場未定）開催予定することが確認された。

5. 閉会宣言

葛西順一副会長より閉会宣言がなされ、理事会は終了した。

## 平成28年度 学会賞等表彰者一覧

日本体育学会第66回大会（2015年8月25日～27日）

会場 国士舘大学世田谷キャンパス

## 【体育方法専門領域・優秀賞】

紅楳英信（相澤病院スポーツ障害予防治療センター）

スピードスケート競技チームバシユートにおける隊列形態の検討

村越雄太（日本大学）

WBV がドロップジャンプの遂行能力に与える影響

谷川哲朗（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科）

モノフィン着用の有無がスタート動作に与える影響

野村照夫（京都工芸繊維大学）

一流水泳選手の泳動作の共通性と多様性

日本コーチング学会第28回大会（2017年3月21日・22日）

会場：早稲田大学東伏見キャンパス

## 【日本コーチング学会・優秀発表賞】

長谷川 晃一（環太平洋大学）

「棒下宙返り倒立」の学習における回り道

藤林 献明（びわこ成蹊スポーツ大学）

前・横・上方向へのバリスティックな伸張

－短縮運動の遂行能力に着目したジュニア・タレント発掘法－

金堀 哲也（筑波大学）

ジュニア期における打撃の長期的指導に関する事例的研究

－腰椎障害予防と競技力向上を目指して－

五十嵐 元（筑波大学）

バレーボールのブロックのコツに関する研究

－一流センタープレイヤーの構えに着目して－

周東 和好（上越教育大学）

「回り道」の学習理論に基づく動きの指導

－輪の水平回旋の習得事例－

野村 照夫（京都工芸繊維大学）

クロール泳における呼吸の有無が水中ストロークに及ぼす影響